

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年8月9日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	商学部商学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2024年7月12日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	マレーシア
留学先大学	マラヤ大学(日本語名) Universiti Malaya(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語・マレー語/英語
留学期間	2023年9月～2024年7月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 10 月初旬～2 月初旬 2 学期: 3 月上旬～7 月上旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	35171 人
創立年	1962 年

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (1RM=約 33 円)	日本円	備考
授業料	1,347	46,939 円	admission fee のみ支払。tuition fee は交換留学のため免除。
宿舍費	6,831	224,578 円	1 日 23RM
食費		450,000 円	月 45,000 円程度
図書費		3,000 円	
学用品費		500 円	
携帯・インターネット費	500	16,438 円	1 か月 50RM
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		400,000 円	旅行や遊びに行った時の費用
被服費		20,000 円	
医療費		円	
保険費		137,620 円	形態: 明治大学での海外旅行保険
渡航旅費		97,254 円	
ビザ申請費	1,289	42,507 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計		1,438,836 円	うち明治大学からの助成金 300,000 円

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 羽田空港 目的地: クアラルンプール国際空港 経由地: チャンギ空港 復路 出発地: クアラルンプール国際空港 目的地: 羽田空港 経由地:
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金: ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:シンガポール航空 料金:62,610 復路 航空会社:エアアジア 料金:34,644 ∴合計:97,254
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:往路:シンガポール航空の公式サイト 復路:エアアジアのスマホアプリ) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:KK11) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
大学から送られてきたメールから寮の情報を確認し、添付されていたフォームから申し込みました。
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
私はkk11という学内寮で約1年間暮らしていました。一長一短があったと思います。まずは、寮ということもあり、友達を作りやすく、彼らと頻りに遊びに行ったり、旅行に行ったりすることができました。また、無料で使えるジムや手ごろな価格の食堂もあり、お金を節約し健康的な暮らしをすることができました。しかし、日本人の基準で考えると、マイナス面も大きかったです。シャワーは冷水しか出ませんし、部屋によってはエアコンが壊れていたり、水が漏れたりしています。トイレも他の学生と共有しているので、あまり清潔ではなかったです。私も当初は、その環境に驚き、暮らしにくさを感じていましたが、その環境に慣れましたし、それを上回るメリットを感じたため、1年間暮らすことができました。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省のホームページで確認しました。公共交通機関に乗るときはかばんは前にする、携帯や財布などの貴重品は、肌身離さず持つておくことを意識していました。実際に危険な目にあった経験はなかったです。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学校の中ではフリーWi-Fiが使えました。SIMカードは空港に到着した際に購入し、安くて大容量のものを使用することができました。しかし、私のSIMカード不具合でテザリング機能を使うことができなかったため、屋外で、パソコンを使用するときは、Wi-Fiがあるカフェを利用するようにしました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地の銀行口座は解説しませんでした。現金の調達方法はWiseというデビットカードを日本にいたときに入手し、ATMで引き出していました。マレーシアは、屋台などを除き、ほとんどの場所でクレジットカードが利用できるため、日本から持ってきた、クレジットカードを利用していました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

イオンやドンキなど日本のチェーン店が多くあるので、基本的には現地で調達できないものはありません。留学中に就職活動を始めたい人は、SPIや玉手箱の参考書を日本で買って置くといいと思います。クアラルンプールの中心部に日本の本も取り扱っている書店があります。しかし、その書店に置いてある本は、ごくわずかであり、日本の就活性を対象とした本は数冊程度しか置いていません。私は結局、アマゾンで参考書の値段以上の送料を払って、郵送してもらいました。就職活動を始める時期をすでに決めている方は、留学中に始めたいのであれば、参考書を買っておくことをお勧めします。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
29 単位	<input checked="" type="checkbox"/> (申請中のため、現時点で結果はわかりません) 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
DRAMA: AN INTRODUCTION	演劇
科目設置学部・研究科	Faculty of Arts and Social Sciences Department of English
履修期間	Semester 1
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義とオンラインチュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教授	Dr. MARY SUSAN PHILIP
授業内容	中世から植民地以後までの、様々な演劇と劇作家について学びました。演劇の抜粋を読み、これらの演劇がどのように社会政治を反映し、影響を受けているかについて着目しました。また、これらの演劇のテーマや特徴、その他の文学的要素を分液する方法を学びました。
試験・課題等	課題として、自分が興味を持っている演劇について調べて、その所感についてを記述する個人レポートと、劇作家の生涯について調べてプレゼンを行うグループ課題がありました。試験はありませんでした。
感想を自由記入	私は、大学受験で世界史を選択していたため、名前を聞いたことがある劇作家を多く学ぶことができ、とても興味深かったです。最終のグループ課題では劇作家としてモリエールの生涯について調べました。彼の人生とそこそこの社会情勢を調べていくのは、新たな発見ばかりで、この授業を取ってよかったと思いました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
INTRODUCTORY ACCOUNTING	初級会計学
科目設置学部・研究科	Faculty of Business and Accountancy Department of Accounting
履修期間	Semester 1
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義とチュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Dr. Noor Adwa Bintil Sulaliman
授業内容	会計の基礎について学ぶことができました。会計の定義、会計原則、会形式と財務諸表、会計の記録、情報システム、収入と支出の概念など、幅広いです。また、商品販売業、棚卸資産、金融資産、非流動資産、財務比率の分析と解釈などについても学習しました。
試験・課題等	小テストが3回と、期末試験がありました。会計の概念と計算問題が出題されました。課題としては、グループ課題があり、これも計算問題と会計の概念についてのグループレポートでした。
感想を自由記入	学ぶ内容は少し難しく、さらに英語での授業だったので授業についていけただけでも精一杯でした。私は1年生の冬に簿記3級を取得していたので、それのおかげで、理解できる部分もありました。会計についての知識を深められたため、履修してよかったと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
INTERNATIONAL BUSINESS MANAGEMENT	国際ビジネス経営
科目設置学部・研究科	Faculty of Business and Accountancy Department of Business Policy and Strategy
履修期間	Semester 1
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Dr. Thinaranjney Thirumoorthi
授業内容	マクロ的側面、特に外部環境要因に重点を置き、国際ビジネスを学習しました。具体的には、多国籍企業がマーケティング、人事、生産、その他の機能をどのように管理しているかについて、機能的アプローチを使って学習しました。過去50年間の国際化と情報通信技術の向上を踏まえた国際ビジネスについて学びました。
試験・課題等	グループプレゼンを中心とした授業でした。ほぼ毎回、軽くプレゼンがあり、1学期の中で2回プレゼン課題がありました。私たちのグループでは、人事がこれからの国際化の中で、どのような課題があり、どう解決していくのかについて調べ、発表しました。最終課題は、自分が気になる業界の国際化について記述するレポートで、私は、コロナ化を受けて世界中に影響を与えるようになった、ワクチン業界について調べ、レポートを提出しました。
感想を自由記入	この授業を通して、プレゼンをする能力が飛躍的に高まったと思います。ほぼ毎回の授業でプレゼンがあったので、頭の中で話す内容を整理する能力、そして、大衆を引き付ける能力を、学ぶことができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
PUBLIC POLICY AND ECONOMY	公共政策と経済
科目設置学部・研究科	Faculty of Economics and Administration Department of Administrative Studies and Politics
履修期間	Semester 1
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Dr. Nawi Bin Abdullah
授業内容	財政、金融、政府、市場といった基本的な公共政策や経済概念について学びました。また、マレーシアやその他の国における公共政策や経済の実施において、現在適用されている理論との関係性についても学習しました。
試験・課題等	個人レポート課題と期末試験がありました。個人レポートでは市場に政府が介入するべきか否かについてを記述しました。期末試験では、GDP や金融政策、財政政策について記述するエッセイ形式の問題が出題されました。
感想を自由記入	公共政策と経済の関係性についての知見を深められる授業で、非常に興味深かったです。この授業を受講したことで、ニュースの見方が変わり、より詳しく経済について知りたいなと思ったので、履修してよかったと感じています。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
ENTREPRENEURIAL ECONOMICS	起業経済学
科目設置学部・研究科	Faculty of Economics & Administration Department of Development Studies
履修期間	Semester 1
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Dr. Baskaran Angathevar
授業内容	起業家精神に関する概念や経済思想について学習しました。社会学、心理学、経営学などほかの視点からそれらを分析します。また、新たに台頭している経済学、起業家精神のマクロ経済学的関連性、それから起業家精神発展を促進する政府の政策の重要性についても学びました。
試験・課題等	2人ペアで行うプレゼン課題と個人のレポート課題がありました。ある企業の成り立ちから大企業へと成長したポイントを発表するプレゼンで、私たちはピクサーについて調べ発表しました。個人レポートでは、外国と日本を比べ、起業家精神発展を促進する政府の政策について深く調べました。期末試験では、経済思想家についての問題が出題された、エッセイ形式のテストでした。
感想を自由記入	日本では学んだことがない内容を多く学び、非常に興味深い授業でした。プレゼンに関しては、自分たちで自由な形式で発表することができて、自分が興味ある会社についての理解を深めることができ、履修してよかったと考えています。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
ELEMENTARY MALAY	初級マレー語
科目設置学部・研究科	Faculty of Language and Linguistics
履修期間	Semester 1
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンライン講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Dr. Ahmad Sabri B Abdul Samat @ Abdul Samad
授業内容	留学生向け授業で、初級のマレー語を学びました。主に、単語と文法について学習しました。
試験・課題等	個人課題では、寮のカフェテリアを、マレー語で紹介しました。グループ課題では、クアラルンプールの有名な観光スポットを訪れ、その歴史や文化についてマレー語でレポートを書きました。中間試験はオンラインで行われ、スピーキング能力を図る試験でした。
感想を自由記入	基礎的な部分から、マレー語を学ぶことができたため、スムーズに理解ができました。完璧に話せるようにはなりませんでしたが、カフェテリアで習った単語を用いて会話することはできるようになり、良かったと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
MARKETING COMMUNICATIONS	マーケティングコミュニケーション
科目設置学部・研究科	Faculty of Arts and Social Sciences Department of Media Studies
履修期間	Semester 2
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Dr. Siti Ezaleila Binti Mustafa
授業内容	広告とプロモーションに重点を置き、マーケティング活動について学習した。具体的には、販売促進、ダイレクト・マーケティング、PR、パーソナル・セリング、インターネット・マーケティングについて学んだ。
試験・課題等	ほぼ毎回の授業後に小さな課題があり、それとは別にグループ課題と個人課題もありました。小さな課題では、近くのスーパーマーケットのプロモーション分析や、過去に批判を受けたマーケット方法(人種差別など)についてのレポートなどがありました。グループ課題では、ある企業のマーケティング戦略を分析し、レポート作成とプレゼンを行いました。私のグループでは、ネットフリックスのマーケティング戦略を分析しました。個人課題では、マーケティングコミュニケーションのこれからの展望について、それから、過去に成功したマーケティング事例について、私は化粧品ブランドとして有名なDove分析し、インフォグラフィックポスターにまとめました。
感想を自由記入	様々なマーケティング手法についての理解を深めることができた良い授業でした。特に、プロモーションについては、どこに広告を打つのか、誰に向けて広告するのかによって、結果は大きく変わっていくことが非常に興味深かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
DIGITAL MARKETING	デジタルマーケティング
科目設置学部・研究科	Faculty of Business & Economics Department of Management & Marketing
履修期間	Semester 2
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Dr. Nor Hazlina Hashim
授業内容	デジタルマーケティングについて体系的に学びました。第1部では、オンラインマーケティングの基礎、第2部ではプランニング戦略について、第3部ではマーケティング戦略の中で、特に、製品・価格・プロモーション・流通・顧客関係管理がどのように消費者と企業に価値を生み出すことができるのかについて学習しました。
試験・課題等	個人課題とグループ課題がありました。個人課題では、架空の顧客を考えて、その人にあつたマーケティング戦略を考え、レポートにまとめました。グループ課題では、ある商品を実際にインスタグラムを用いて、プロモーションするもので、そこで発見した課題点やその解決策をレポートにまとめ、プレゼンしました。
感想を自由記入	オンラインでのマーケティング方法について学習することができ、とても興味深かったです。実際にインスタグラムを運用してみて、マーケティングを体感することができたので、履修してよかったと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
GLOBAL MARKETING	国際マーケティング
科目設置学部・研究科	Faculty of Business and Economics Department of Management and Marketing
履修期間	Semester 2
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Dr. Nor Hazlina Binti Hashim
授業内容	グローバルマーケティング機能に影響を与える環境要因の包括的な分析について学びました。地域的な顧客のニーズを特定し、それを満たすために、マーケティングミックスがどのように適応されるかについての知識を付けました。グローバルマーケティングの概念と課題、グローバル環境分析、グローバルマーケティングリサーチと戦略分析、企業による国際市場参入のアプローチ、グローバルマーケティングミックスの設計と管理という5つの幅広いトピックを学びました。
試験・課題等	グループ課題と中間試験と最終試験がありました。グループ課題では、マレーシアのカフェブランド「Old Town White Coffee」がパキスタンに市場参入すると仮定した際の課題とその解決策について、授業で習ったマーケティングミックスを用いて分析し、レポート作成、プレゼンを行いました。中間試験では、それまで習ったことについての知識をオンライン形式で聞かれました。最終試験では、あるマレーシアの企業がオーストラリアに市場参入すると仮定した際の、課題点と解決策について分析し、記述するエッセイ形式の試験でした。
感想を自由記入	国際市場参入という、現在日本でも多くの企業が取り組んでいる事例について、マーケティング手法を用いながら、分析することができ、とても興味深かったです。特に、マレーシアのブランドについて調べることで、マレーシアの市場と、他国の市場についても学ぶことができ、履修してよかったと思っています。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
HOSPITALITY MANAGEMENT	ホスピタリティ業界の経営
科目設置学部・研究科	Faculty of Business and Economics Department of Management and Marketing
履修期間	Semester 2
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Dr. Amrul Asraf Mohd Any
授業内容	観光、宿泊、レストランなどのホスピタリティ業界の機関となる主要部門と、クラブ、テーマパーク、エンターテイメント、ケータリング、非商業的フードサービス、イベント管理など、業界のいわゆるサブセクターについても学習しました。経営の伝統的な機能と、それがホスピタリティ業界でどのように応用できるかについて議論を深め、業界のトレンド、課題に触れることで、ホスピタリティに関する状況を解決できるようになりました。
試験・課題等	1つの個人課題と2つのグループ課題がありました。個人課題では、ホテル業界のトレンドについて調べ、それをまとめたインフォグラフィックポスターを作成しました。1つ目のグループ課題では、企業のホスピタリティの事例紹介としてマレーシア航空を取り上げ、プレゼンしました。2つ目のグループ課題では、近くの飲食店にフィールドワークとインタビューをし、飲食業界とほかの産業のホスピタリティを比較分析し、レポートにまとめ、プレゼンしました。
感想を自由記入	ホスピタリティについて、日本では全く習ったことがなかった分野でしたが、とても興味深い内容でした。特に、実際にフィールドワークを行ってグループ発表できたのは、留学中の貴重な経験だと思うので、履修してよかったと思います。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	留学申込・選考
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	ビザ申請・滞在先の申し込み
	8月～9月	渡航
	10月～12月	授業開始
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	期末試験・帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

私が留学先としてマレーシアを選んだ理由は 2 つあります。1 つ目は物価が安く、英語が通じる国だからです。生活費を抑えるため、日本より物価が少し安いマレーシアを選びました。その結果、金銭面をあまり気にせずのびのびと生活でき、人々との交流を通じて英語力を向上させることができました。2 つ目は多様性がある国だからです。マレーシアはマレー系、中華系、インド系の国民で構成されており、これにより多くの文化に触れる機会がありました。日本では味わえない異国情緒あふれる雰囲気や、まだまだ発展の余地がある街の様子が非常に興味深かったです。

大学の敷地面積は、日本では考えられないほど広く、まるで一つの街のようでした。大学内には大きな図書館やカフェ、24 時間利用可能な自習室などがあり、集中して勉強するための環境がそろっていました。また安価なカフェテリアもいくつかあり、そこで食事をするだけで食費を抑えることができました。学生の雰囲気は非常に穏やかで、人当たりの良い学生が多い印象を受けました。ヨーロッパやアジアの様々な国から留学生が来ており、彼らとの交流を通じて、毎日楽しく生活することができました。

留学に行くか迷っている人には、何としても留学にチャレンジしてほしいです。私も最初は不安でいっぱいでした。言葉が通じるのか、異文化に適応できるのか、未知の世界に飛び込むのは怖かったです。しかし、留学を決断して本当に良かったと思っています。留学に行く前の私は自身がなく、積極的に行動することも苦手でした。しかし、異国の地での生活はそんな自分を大きく変えるきっかけになりました。新しい友達と出会い、異なる文化に触れることで、自分の世界が広がり、多くのことを学びました。留学先では、日本にいただけでは経験できないことがたくさんあります。例えば、現地の友達と一緒に料理を作ったり、現地の祭りに参加したり、授業でディスカッションを通じて意見を交わしたり。これらの経験は私にとってかけがえのないものでした。もちろん最初は不安でしたが、その不安を乗り越えることで、積極的に行動する力が身に付きました。そして何より、自分自身が大きく成長したと感じています。留学を迷っているあなたにもぜひこの経験をしてほしいと思います。恐れずに一歩踏み出してみてください。その一歩がきっとあなたの人生を豊かにしてくれるはずです。